

公益財団法人かすがい市民文化財団情報誌 フォーラムプレス

FORUM PRESS

77^号
12-1^月
2016-17

春日井の文化をつむぐ



ゆっくりと 長い時間をかけて 遠くまで

「こんな時代だからこそ、よりクリエイティブでいたい」

B'zが新曲を出したら、「とりあえず聴いてみよう」っていう人が多いと思います。クラシック音楽でも、そう思ってもらえるような曲を提供したいです。



あの人と、春日井と

ピアニスト
内匠慧

Kei Takumi

1992年春日井市生まれ。3歳よりピアノを習い、ヤマハマスタークラス特別コースを修了。東京藝術大学を経てイギリスに留学。2015年に英国王立音楽院を卒業、ロンドン大学音楽学士を第1級栄誉で取得。浜松国際ピアノコンクール第6位、オスロ・グリーク国際ピアノコンクール特別賞、シヨパン国際ピアノコンクール in Asia コンチェルトC部門アジア大会銀賞。第62回全日本学生音楽コンクール高校生の部 全国大会第1位、第35回PTNAピアノコンペティション特級銀賞など受賞多数。新日本フィルハーモニー交響楽団や名古屋フィルハーモニー交響楽団など、交響楽団とも多数共演。http://www.keitakumi.com

2013年6月開催の『のだめ音楽会』にソリストとして出演した、春日井出身のピアニスト。現在はイギリスに留学しながら、国内外で演奏活動を行っている。幼い頃はピアノがあまり上手く弾けなかったが、中学生で奮起した。授業後はダッシュで帰宅。1分でも長く弾きたくて、夕食は後回しだった。そんな生活を6年間続けると、少しは上手くなったかな、と思えるようになった。

やがて気持ちは世界へと向かう。「クラシック音楽は、所詮ヨーロッパの伝統芸能。ならば本場で学びたいと思いました。イギリスで歌舞伎は学ばないでしょ」と笑う。反対する両親からは、留学の条件に“東京藝術大学合格”という難題を突き付けられた。見事クリア。今年で留学6年目となる。「イギリスで出身地を聞かれると、愛知より名古屋と言うほうが通じました。でも春日井広報大使ですから。3年前からは“I am from KASUGAI”と答えています」

最近よく考えるのが、デジタル時代におけるピアニストの在り方。「昔は聴きたい曲があれば、演奏会に行くしかありませんでした。しかし現代は、YouTubeで簡単に聴けてしまう。デジタル演奏もどんどん発達していて、今やピアニストは消えかかっている職業です。そんな時代に勝ち残れるのは、今までにない“新しい価値”を生み出せる人。過去の曲を演奏することが多いクラシック音楽界であっても、現代音楽や作曲することでそれを実現できると、私は考えています」と語る。9月に出演した『昼コン&夜コン200回記念special』では、現代音楽を中心に演奏した。苦手に思われることも折り込み済み。それでも新しい音楽に出会う喜び、それを好きになる可能性を届け続けていく。

取材=9月16日@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
テキスト・写真=スタッフ 後藤友介

CONTENTS

12	11	10	09	08	07	06	04	02	01
インフォメーション	校歌は地域をうたう vol.25 味美小学校	提携ショップ「サカエ楽器」	わたしレポート「昼コン&夜コン200回記念special」 「嵐になるまで待って」	このマンガを読め！ vol.16 ビートルズが題材のマンガ	学校へ行こう！「桑島法子」「井草聖二」アウトリーチ	「人形劇フェスティバル」に大学生人形劇サークルが初登場	江戸噺家・古今亭文菊「噺家の匂い」が伝統を守る	名家・茂山千五郎家の若手ユニット HANAGATA 現代的なセンス×古典的手法で魅せる狂言の世界	あの人と、春日井と「ピアニスト・内匠慧」

写真家の眼

N°004

今では誰もが簡単に写真を撮れるけれど、写真家と言われる人の写真は、なんかちょっと違う気がする。彼／彼女らはどんなふうに、見て、切り取るんだろうか。春日井にまつわるもの、という切り口で始めた表紙写真プロジェクトです。



今号の表紙 on the cover

PHOTO 原田愛子
AIKO HARADA

とてもお天気のいい秋の日でした。反射する光が綺麗で、街を捕まえて剥がし取るようなつもりで、水面やガラス面などを撮影しました。高蔵寺駅を起点に街を散策しながら和菓子屋さんを目指し、次に勝川駅で下車して、地藏川沿いを歩きました。春日井を実際に切り取って持ち帰ることはできませんが、今回の撮影で「架空の春日井」のようなものをお土産にすることができました。和菓子も美味しかったです。

発行=公益財団法人かすがい市民文化財団
486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井 TEL.0568-85-6868
編集=公益財団法人かすがい市民文化財団
制作=211design-meme-
Art Director=鷹巣由佳

HANAGATA

現代的なセンス×古典的手法で魅せる、狂言の世界

なんと！今回上演される狂言「柿山伏」は、小学校6年生の国語の教科書に載っているそうです。授業で「やるまいぞ、やるまいぞ」と朗読している子どもたちを思い浮かべると、難しそうな狂言もグッと身近に感じられます。



1976年に発足された「花形狂言会」が世代交代し、現在のメンバーとなったHANAGATA。ローマ字に改名したのは「古典・新作にとどまらない表現に挑戦していこう」という思いから」(逸平)。それを体現するように、古典「蟹山伏」を現代の笑いにアレンジした作品や、落語を元ネタにした演目などを上演しています。

そうした創作の根底には、茂山家に伝わる家訓「お豆腐狂言」があります。「気軽に誰にでも楽しんでもらえる狂言を目指さない」という教えです」(千五郎)、「一見角張っているけど、さわってみるとブルブル柔らかい」(茂)という通り、味わい深く誰からも愛される舞台を繰り広げます。

そんな狂言の名家に生まれた皆さん。「狂言師で良かったことは家族が仕事仲間なこと。悪かったことは家族が仕事仲間なこと」(逸平)、「ずっと狂言をしていられることが良かった。ただ土日と平日夜に働いているので、友達と遊ぶ時間がない」(千五郎)と思も様々。これまでも印象深かったエピソードを聞くと、「毎回です。つまり今日がとっても深いエピソードの日になります！」(宗彦)とのこと。狂言界に巻き起こる新風は、吹き止みません！

取材・テキスト=スタッフ 後藤友介 photo: ©新島隆

本公演の見どころは？

ズバリ HANAGATAメンバー「問」答！



茂山 千五郎

狂言をよく知る人には全く違和感がない演出でも、知らない人から見たら変なことたくさんある。それを舞台化した『my sweet home』は注目です。

茂山 宗彦

全部でしよ!!!

茂山 逸平

スタイルの全然違う作品ばかりなので、皆様のお気に入りを探してください。個人的には『my sweet home』の訳分からん感が好きです。

茂山 逸平

新作はもちろん楽しんでいただきたいですが、ある意味、古典作品の強さを知っていただける公演でもあります。

茂山 童司

600年以上続く伝統的なコメディアンである狂言師が、全身全霊でバカバカしいことをやる。その面白さにハマってください!!!

狂言の魅力を解説

コバマサ先生、もっと教えて！

笑いの限界を突破する



テキスト 小林昌廣
1959年東京生まれ
情報科学芸術大学院大学(IAMAS)教授・図書館長。芸術と哲学と医学を三つの頂点とする「三角形の中心に「身体」をすえて、独特の身体論を展開。

狂言とは何か…。権威ある事典(新訂増補 能・狂言事典)を開いてみましょう。曰く「南北朝に発生した中世的庶民喜劇で、(中略)日常的なできごとを笑いを通して表現するせりふ劇」。常に比較される能の場合は、さらに古い時代の物語(『平家物語』などを題材にして幽玄に(上品に)表現するのに対し、狂言はもっぱら「笑い」によって世界をかく乱することを目的としています。

狂言には現代の日常にもいそいそ愛すべき、親しみやすい人物や、ちょっとそばにはいてほしくない人物がたくさん登場します。そして、必ずなにかのドラマが展開されます。ドラマとは言っても、複雑な政治劇や甘い恋愛物ではありません。ドタバタ喜劇のオンパレードです。それが現代人にもわかるセリフと大仰な仕草で展開されているのが狂言なのです。「狂言は『万葉集』の頃には「たわごと」と呼ばれていました。人をたぶらかす空々しいことの意味です。最近あまり耳にしません。「狂言強盗」と言うときの狂言もそれに当たります。つまりは天下国家に大なたをふるうという

意図は、狂言にはどこにもありません。しかし、だからこそ中世の庶民のたわいもない笑いが現代人にも通じ、劇場を、世界をその笑いで揺り動かすのです。

今回は京都を中心に活動している大蔵流・茂山家の若き五人が、「これも狂言なの？」と思わせるような演目も含めて、さまざまな笑いを私たちに届けてくれます。今年9月に十四世千五郎を襲名された正邦さんを当主として、弟の茂さん、そしてふたりの従兄弟の宗彦さん・逸平さん兄弟、さらに又従兄弟である童司さんという、比較的年齢も近い五人が、狂言の限界に挑戦してくるんです。もともと、舞台に出てくるだけで面白い茂山千五郎家にとつては、この程度の舞台など「限界」ではないかもしれませんが、彼らに対する最高の賛美は、笑いで示しましょう。人から笑われる商売。なんてステキなお仕事でしよっか！

花形狂言2017 冬のツアー
2017/1/28(土)
13:00
@春日井市民会館
詳細情報は、裏表紙で
Ticket Guide

「**噺家の匂い**」が伝統を守る

江戸噺家

古今亭文菊

素敵な着物の着こなしにも注目です!

スタッフ=鈴木史子



よくお坊さんに間違えられるという文菊師匠。飄々とした印象ですが、お会いすると、真摯に落語と向き合う真面目なお人柄。そんな師匠が高座に上がると、ドキッとするとほど華があるんです。底知れない魅力に、目が離せません。

頭の中に映像として

パートと浮かんた衝撃

—落語家になられたきっかけは?

高校で進路を考えていた時、「サラリーマンは嫌だな」と思っていました。門戸の広い演劇の世界に入れば、新しい道が開けるんじゃないかって、大学に進み劇団に入りました。でも、やりたいことは分からなかった。そんな時、高校時代にテレビでたまたま見た落語番組を思い出しました。おじいさんが喋っているだけに、頭の中にその情景が映像としてパートと浮かんできたんです。衝撃でした。そのおじいさんが、圓菊師匠。落語というものを全然理解していなかったのですが、「落語でダメなら、普通に勤めしよう」と決意して、「東京かわら版」を頼りに圓菊師匠を探しました。

落語家は 生身の人間を見てもらう職業

—そして圓菊師匠の門を叩いたんですね。

入門はできたんですが、その後が大変でした。今までの生き方を全部リセットさせられるんです。「前座のくせに意見を述べるなんて、ふてえ野郎だ」って。20年も生きてるわけだから自分なりの考えがあるんだけど、「落語家はそれを一旦崩さなきゃいけない。地を這うような苦労が必要なんだ」と、教えられたんだと思います。おかげで自分を丸裸にできました。落語は生身の人間を見てもらう芸です。自分を装うとか、面白い噺を並べれば良いなんてものではない。

—その圓菊師匠が、文菊師匠の真打昇進1か月後に亡くなられました。

それまでは毎日のように、師匠の小言に追い込まれていました。しかしそれは、落語家に必要な自分の内面と向き合うという試練を与えられていたんだと思います。自分と本気で対峙してくれる人を失い、途方に迷いました。そんな時、不安な気持ちを補ってくれたのが、意外にも結婚だったんです。

自分に自信があれば、 どんな状況も受け入れられる

結婚して相手と深く関わるようになって、自分の中の解決していない問題に気付かされるんです。例えば奥さんと喧嘩して、「おめえがそうしねえから、ダメ

なんだ」と言ってしまうこともある。でもそれって、自分の責任で物事を発信してないんですよ。人のせいになっている。落語で「今日は客が良くなかったからウケなかった」って言うのも、ただの責任転嫁です。自分に自信があれば、人がどう感じようと受け入れることができる。落語家に必要なのは「私はこうなんだ」という芯を持つことだと思います。それに気付けたのは、奥さんのおかげでした。結婚は、魂の修行ですよ(笑)。

—古典に真摯に取り組まれています。が、師匠にとつての落語とは?

古典といつても、昔からある噺っていうだけです。ただ、古典をやるからには、お客さんを江戸の世界に連れて行ける空気感を作り出せなくては行けない。その

ためにも、普段から落語の世界に出てくるものに触れておくことは、大切かも知れません。歌舞伎とかお座敷遊びとか。でも一番大事なのは、師匠のお家に通うことなんです。入門してから4年ほど、毎日朝からずつといて、掃除しておまんまこしらえて、師匠と一緒に食べました。それは「見意味がなさそう」で、実は「噺家の匂い」を身体に付けるために必要なこと。圓菊師匠は志ん生師匠の元で、昔ながらの修行をしました。現代人から見たら遺物みたいな人でしたよ(笑)。しかし、匂いを伝えていかないと、落語という伝統文化が無くなっちゃうんです。そういう土台を作って、自分の好きなものを足していくと、一人の落語家が出来上がるんだと思います。



江戸風俗を知れば、**文菊落語**がもっと面白い!

春日井市図書館で読める

江戸を知る 書籍ベスト3

司書=田邊涼太(春日井市図書館)



1 「図解 江戸の暮らし事典」 監修=河合敦 / 学研



長屋ってアパート?金一両つて大金なの?よく聞くけど知らない江戸の暮らしをイラストを使ってわかりやすく解説しています。

2 「江戸の庶民信仰」 山路興造 / 青幻舎



神様、仏様、妖怪にお化け……。昔の人はその存在を信じていました。だから信仰は生活の一部。これを知らないや江戸っ子じゃない!?

3 「江戸に学ぶ粋のこころ」 小山観翁 / グラフ社



江戸っ子は粋を大事にしているって言いますよね。でも、粋って何でしょう?この本を読んで、粋で鯉背な人になつてみませんか?

第86回かすがい芸術劇場
古今亭文菊 独演会
2017/2/19(日) 14:00
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

詳細情報は、裏表紙で **Ticket Guide**



「ありがとう」のメッセージが届きました
アウトリーチ後、各校の児童さんからメッセージブックが届きました。感想とともに可愛いイラストを添えてくれた子ども多数。桑島さんも大喜びでした。

声優・桑島法子さんが春日井市立北城小学校と味美小学校の6年生を訪問し、朗読の授業を行いました。朗読したのは、教科書に載っている『やまなし』（宮沢賢治作）。「クラムボンのかぶかぶわらったよ」など、言葉の響きが印象的な作品です。朗読が始まると、声優の本領発揮!? 桑島さんの声色がガラリと変わり、一気に物語の世界に引き込みます。子どもたちは、「キャラクターごとに声を変えていて、すごい迫力だった」「普段の声と声優の時の声が全然違って驚いた」と目を輝かせていました。

朗読後、桑島さんは小学生の頃のエピソードを披露。国語の授業中、声を変えながら生き生きと音読して、友達に笑われたこともあったとか。「子どもの時に好きだったことを、大人になっても続けられて、本当に幸せです。みんなも時間をかけて好きなものに出会い、それを掘り下げてみてください」と語りかけました。

取材=9月15日@春日井市立北城小学校・味美小学校 テキスト・写真=スタッフ 鈴木史子

「声だけだからこそ、広がる想像力」
— 声優・桑島法子 小学校アウトリーチ

アーティストが
教室にやってきた!



超絶技巧ギタリスト井草聖二さんが、昨年に引き続き市内の小中学校を訪問。生演奏を披露しました。「家にこもりがちだった中学生の頃、たまたま手に取ったギターで自信が生まれ、学校に行けるようになりました。いつか世界トップ5に。みんなも、夢中になれるものを見つけてください。そして頑張っている友だちがいたら、応援してあげてください。今度はその子が自分を応援してくれます。そういう繋がりを大切にしてください」と語られました。その後、中学校ギター部で特別レッスンを開催。プロの技を目の当たりにした部員たちは、「未知の奏法にワクワクしました」「昨年コンサートで観たのですが、直接指導してもらえると夢のよう!」と大喜びでした。

取材=11月9日@春日井市立藤山台中学校、勝川小学校、中部中学校 テキスト・写真=スタッフ 後藤友介



「夢中になれるものがあれば、前に進める」
— ギタリスト・井草聖二 小中学校アウトリーチ

人形劇フェスティバルに、大学生人形劇サークルが初・登・場!

とびねこのお姉さんと一緒に、夢の世界へ遊びに行こう!



小さな部室から、
壮大な物語を
お届け!

スタッフ=山下玄

今年は、女子大学生の人形劇サークルが出演します。いつも元気と笑顔でいっぱいのお姉さんたち。物語に込めるメッセージは、子どもたちへの思いやりでいっぱいです。

取材=10月19日@愛知県立大学
テキスト=スタッフ 後藤友介

人形も物語も、ゼーンぷ手作り!



①飛行機とその部品。「サイズ感が変ですが、子どもが直感的に分かるよう工夫してます」②黒子用頭巾も手作り。「布が薄いと表情が見えてしまうので、素材選びが重要」③ひらめいた時の音を、部室に転がっていた木魚とベルで表現。「ヒトは身近に転がってます」④UFOキャッチャーのように積み重なった人形たち。

かすがい人形劇
フェスティバル2016
12/11(日) 10:00~、14:00~
@文化フォーラム春日井・
視聴覚ホール、交流アトリウム

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide

**伝統を重んじる
歴史あるサークル**
30年以上もの歴史を持つ、愛知県立大学の人形劇サークル「とびねこ」。福祉会館や小学校などから上演依頼があり、自主公演も含め年8回程度の公演を行っています。「自分たちで台本を書き、練習を重ねながら芝居を作り上げていきます。上演するのはいつも新作。それがこのサークルの伝統なんです」と部長さん。メンバーは、子どもの頃から人形遊びが好きだった人や、裁縫が得意な人など、1〜3年生の女子学生10人です。ちなみに、入部時にサークルネームを決めて呼び合いますが、なんとお互い本名は知らないとか! そんな独特の伝統も含め、活動を楽しんでいます。

夢を諦めないで
今回上演される『ふうた君と飛行機』は、空を飛んでみたいシロクマのふうた君と、飛行機でやって来たトラのつばさ君との物語。ある日、パランスを崩した飛行機が墜落してしまいます。そこで出会った2人。再び大空へ飛び立てるのか...!? 「動物を主人公にしているのは、子どもたちが親しみを感じやすく、空想的な世界感も作りやすいから。本作には子どもたちに向けて『夢を諦めないで』というメッセージを込めました。教訓めいたことですが、大学生くらいのお姉さんには子どもたちが心を開きやすいらしく、素直に話を聞いてくれます。そういう存在であることを意識して、私たちだからこそできる人形劇を作り続けていきたいです」

9.16 FRI 昼コン&夜コン200回記念Special



Report [180] @文化フォーラム春日井・交流アトリウム

超絶、迫力のピアノ演奏会

『昼コン&夜コン』の200回目はスペシャルということで、「珠玉のアトリウム音楽」と銘打たれたピアノリサイタル。奏者は春日井市出身で広報大使でもある内匠慧さんです。会場の交流アトリウムには早くから観客が詰め掛け、立ち見客まで出る盛況ぶりでした。コンサートが始まると、リスト『超絶技巧練習曲第10番』、ドビュッシー『花火』といった、難曲たちが次から次へと演奏されていきます。まさに音の洪水のよう! 超絶技巧もさることながら、表現力も素晴らしく、パンフレットに書かれた内匠さんの輝かしい経歴に納得しました。曲間のトークは、こんなパワフルな演奏をする人とは思えない柔和さで、好青年という印象でした。終演後、内匠さんから直接お話を伺う機会があり、それによるとご本人もノリノリだったそうで、選曲も普段あまり弾かない現代音楽を中心に選んだとのこと。集まった観客数は約600人という大盛況。とても熱気に溢れた200回目の夜コンでした。

テキスト=田中昭則



10.8 sat 演劇集団キャラメルボックス「嵐になるまで待つ」



Report [185] @春日井市民会館

演劇の面白さがギュッとつまんだキャラメルボックス

キャラメルボックスは面白い、というのは知ってはいましたが、観たのは今回が初めて。ファンに交じっての観劇で、観客と演者とが、一緒に舞台を創り上げていくのを実感しました。役者の熱意や演技力、演出や脚本の面白さにグイグイ引き込まれ、あっという間の2時間でした。“声”をめぐる物語に、手話が効果的に用いられた作品です。登場人物の一人、雪絵のセリフは、すべて手話。私は手話を知らないのですが、観ているうちに伝えようとしている内容がなんとなく分かるようになっていました。手話を取り入れたダンスシーンも美しかったです。物語の展開にハラハラドキドキしつつ、“声”について考えていました。舞台装置や照明、音響もよく工夫されていて素晴らしかったです。同じ美術セットなのに、スタジオや診察室、エレベーターなど、様々な様相を変える舞台も、さすがだなと思いました。終演後は拍手が鳴り止まず、カーテンコールは3回もありました。

テキスト=紀瑠美



1 どこで情報誌FORUM PRESSを入手されましたか?

3 あなたが思う「春日井の魅力」を教えてください

2 今回のFORUM PRESSで、面白いと思ったページに☑を付けてください

4 今後、FORUM PRESSで取り上げてほしい内容や、ご意見・ご要望をお聞かせください

- P.1 あのひと、春日井と「ピアニスト・内匠慧」
- P.2-3 名家・茂山家の若手ユニットHANAGATA 現代的なセンス×古典的手法で魅せる狂言の世界
- P.4-5 江戸囃子・古今亭文菊「囃子の匂い」が伝統を守る
- P.6 「人形劇フェスティバル」に大学生人形劇サークルが初登場
- P.7 学校へ行こう!「桑島法子」「井草聖二」アウトリーチ
- P.8 このマンガを読め! vol.16 ビートルズが題材のマンガ
- P.9 わたしレポート「昼コン&夜コン200回Special」 「嵐になるまで待つ」
- P.10 提携ショップ「サカエ楽器」
- P.11 校歌は地域をうたう vol.25 味美小学校
- P.12-13 インフォメーション

🎁 ご希望のプレゼントに1つ☑を付けてください
2016/12/27(火)必着

- ①花形狂言2017冬のツアーヘアチケット
- ②かすがい日曜シネマ「Dearダニー-君へのうた」ヘアチケット
- ③コロナワールド映画鑑賞ヘアチケット

FORUM PRESS 77号 読者アンケート

いつもFORUM PRESSをご愛読いただき、ありがとうございます。今後もより読み応えのある誌面づくりをしていくため、参考にさせていただきます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

回答者プレゼント

抽選で次の1-3のいずれかをプレゼント!!

- 1 花形狂言2017冬のツアーヘアチケット
2017/1/28(土)13:00~
2名様
- 2 かすがい日曜シネマ「Dearダニー-君へのうた」ヘアチケット
2017/1/22(日)16:45~
2名様
- 3 コロナワールド映画鑑賞ヘアチケット
2名様

アンケートの応募締切は、**2016/12/27(火)必着**
たくさんのご応募、お待ちしております。
※当選は発送をもって代えさせていただきます
※当選者への発送は1月上旬の予定です

第59回 かすがい日曜シネマ 「Dearダニー-君へのうた」

2017/1/22(日)
①10:15 ~ ②13:45 ~ ③16:45 ~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide



©2015 Darryn Collins Productions LLC

人生捨てたもんじゃない、
そう思える、奇跡の実話

ミュージシャンとしての絶頂期が過ぎ、クソリに溺れる怠惰な生活を送っていたダニー。そんな彼のところに、憧れのジョン・レノンから、数十年の時を越えて一通の手紙が届きます。手紙には、富や名声におぼれず、音楽への愛情を持ち続けることの大切さが記されていました。手紙に感銘を受けたダニーは、人生を変え、旅に出ます。

新曲を作ること以外にも、やるべきことがあったダニー。ある女性との間に生まれた、顔も見たことのない息子に会うのです。当然のように拒否されますが、関係を修復したいと奮闘。自分の音楽を取り戻そうとする、けなげな姿と重なります。

ジョン・レノンの楽曲が、BGMとしてふんだんに使われている本作。わだかまりのある息子との再会シーンで流れるのは、ジョンが息子シヨーンを想って書いた『ビューティフルボーイ』。物語に寄り添うように、ジョンの歌声が美しく響きます。

テキスト=スタッフ 相馬加奈子

スタッフ
小松淳子の

このマンガを読め!

COMIC × CINEMA
vol.16 / ビートルズが題材のマンガ



決め台詞や決めポーズ、最近では叶姉妹がファンになったり、まさかの実写映画化など、なにかと話題の作品です。

ジョジョの奇妙な冒険
◎荒木飛呂彦 / 集英社

「Dearダニー」を彩るのは、ジョン・レノンの名曲たち。彼がメンバーだったビートルズが登場するマンガをご紹介します。

選・テキスト=スタッフ 小松淳子

ビートルズファンには賛否両論の本作ですが、最終巻に登場する本物のビートルズには、やはりワクワクさせられます。

僕はビートルズ
◎かわぐちかいじ×藤井哲夫 / 講談社(全10巻)



根強い人気の長期連載作品
何故この作品がビートルズなのか?と思う方もいません。実は「ジョジョ」(主人公たちの通称)は、ビートルズの楽曲「Get Back」の歌詞から取られているのです。他にも洋楽ミュージシャンから取られたキャラクターがたくさん登場。このマンガから洋楽に目覚めた少年たちも多いのでは?

コピーバンドがタイムスリップ!
主人公のマコトたち4人は、技術は本物をしのぐと評価されるビートルズのコピーバンド「ファブ・フォー」。バンドの将来について悩んでいた彼らは、ある日突然、ビートルズがデビューする前年(1961年)にタイムスリップしてしまいます。そこはまだ誰もビートルズを知らない世界。彼らは、ビートルズより先にビートルズの曲でデビューし、勝負しようと考えます。「ビートルズとは何か?」「オリジナルティとは?」を問いかける作品です。

音楽で人生に潤いを

勝川のレコード店から始まった、春日井の老舗楽器店・サカ工楽器。ピアノ少女だったスタッフ寺井がレポート!

音楽以外にも、英語教室など充実のプログラム!

スタッフ=寺井萌乃



ヤマハ音楽教室のキャラクター「ぶっふるちゃん」!

ピアノの向こうに見える赤い頭は…?

今年で創業50周年を迎えたサカ工楽器。ピアノ等の楽器販売やメンテナンス、音楽教室も行っています。また、コンサートや教室の発表会など、イベントも多数開催。「音楽の学習には普段の練習の他に、発表すること、一流の演奏を聴くことの3つが大切なんです」と社長の小林さん。1月8日(日)に開催される『大谷康子&横山幸雄ニューイヤークンサート』にも、そ

んな思いが込められています。現在は、『歌声サロン』や『青春ボツブス』といった、シニア向けのイベントが好評。シニアの皆さんが楽しそうに歌って踊っています。「音楽は人生に潤いをもたらすもの。大人も子どもも、私達の活動をきっかけに音楽ファンになってくれれば、この上ない幸せです。これからも地域の皆様に愛される楽器店として頑張っていきます」



設立当時の貴重な写真。初めはレコード店でした!



サカ工楽器スタッフのみなさん。笑顔と元気が自慢です!



3階にある練習室はコンサートもできる広さ。エレクtronのグループレッスンも行っています。



若草通店は他の3店舗と違い、昭和レトロな香りが漂います。扉や窓のデザインは、建築好きにはたまらない!

PIPi提携ショップ

サカ工楽器

- 若草通1-26-1(若草音楽センター)
- 10:00~18:30(土曜のみ~17:00) 祝日休み
- TEL 0568-31-0660
- PiPi会員カード提示で、代金の5%引き(楽譜、楽器小物に限る)

教室の窓を望めば、いつも飛行機雲

今年で開校143年目になる味美小学校。校歌といえば斉唱が多い中、同校の校歌は2部合唱であるのが特徴です。「1、2、3年生が無邪気に主旋律を歌い、4、5、6年生がそれに合わせて副旋律を歌います。立派なものですよ」と校長の梅本先生。その時、飛行機の飛ぶ音が小さく響きました。「すぐ西に県営名古屋空港があります。歌詞に“飛行機”という言葉が出てくるほど、地域と密接しています。ちなみに校舎は市内初の防音設計なんですよ」

読書愛は、親の愛から

PTAには珍しい“図書部”があります。「図書室の飾りや本の紹介、新本のラミネート作業などをしてください。『コロポックル』という読み聞かせサークルもあって、本に親しむ環境が整っています」



歌詞のままの校風

9月に声優・桑島法子さんの出張授業を受けた、6年生の仲よし3人組。アニメで聴き馴染んだ声で朗読される宮沢賢治作品には、新しい感動もあったとか。「校歌の歌詞では、3番の“みんな仲よく手をつなぎ”という歌詞が好き。仲よしの学校だもん!って思います」



今月のお客様

文化フォーラム春日井や春日井市民会館には、いろんな土地から、いろんなお客様がいらっします。

Vol.14



今年の『道風展』の学生条幅の部には、静岡県から応募された田原璃子さんが文部科学大臣賞を受賞されました。開会式と表彰式に出席するため春日井を来訪。「書のレベルが高く、小野道風の作品も展示してあって、さすが書のまちですね。ゆるキャラ道風くんカワイイ!」

静岡県沼津市より ● 田原璃子さん(沼津西高等学校3年)



授業の課題で、文化フォーラム春日井と市民会館を訪れた仲よし4人組。スタッフに話を聞いたり、普段は入れない楽屋や照明室も見学したりしました。後日「取材をまとめたパンフレットが出来ました!と、持ってきてくれました。イラスト入りでカワイイ仕上がりでした!」

春日井小学校より ● 二瓶さん、中東さん、野々垣さん、伊藤さん(6年生)

編集ノート

息長く、楽しく続けていく。原田愛子さんは表紙撮影にあたって、春日井での嬉しい記憶が出发点になったと話してくれました。そんな一つ一つのエピソードが、この先の原動力。(山川) / 三絃士と花形狂言は、古典芸能にある固定概念を吹飛ばす。片や古今亭文菊師匠は、「The古典」を真摯に守られている。伝統文化を守るには、どちらも必要なんですよ。(後藤) / 先日着物を着て遊びに行きました。「着物は大変!」という思い込みが、1度体験したら「楽しい!」と気軽に着たい!に一変。古典芸能との出会いも同じかも!(鈴木) / 東京・上野にある国立西洋美術館、外観を見ました。今度行くときは常設展を見て本館を堪能しなくては視聴覚ホール椅子もぜひ。(神田)

(受取人)
愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
公益財団法人かすが市民文化財団
FORUM PRESS 編集部行



フリガナ	お名前	歳
〒	ご住所	都道府県 市郡
お電話	※マンション・アパート名まで必ずご記入ください。	
	会員番号	P

※友の会PiPiに入会されている方は会員番号もお書きください ※ご記入いただいた個人情報、当財団が、当財団主催事業のために使用し、それ以外に使用、または第三者に提供することはありません。

料金受取人私郵便
春日井局 認
2018
発行有効期限
平成29年3月
31日まで

郵便はがき
4868790
366



和太鼓普及企画2017 春日井不二太鼓 春薫風スペシャルコンサート

今回で3回目を迎える、春日井不二太鼓によるコンサート。圧倒的な和太鼓の音圧と凝った演出で、観客の度肝を抜く“和”のエンターテインメントをお楽しみいただけます。前半は子ども太鼓・風童の演奏。小さな体から放たれる一打一打にも強い思いが込められており、心の底に響きます。後半は和の仲間たちが創り出す舞台。今回初となる『剣舞』は、様々な和楽器とのコラボ。“日本人と

しての立ち姿の美しさ”をご堪能ください。
2017/3/5(日) 13:00~
@春日井市民会館
[料金] 大人¥3,000、小人(高校生以下) ¥2,000、PiPi会員は1割引
●全自由席、当日券同額、未就学児は保護者同伴
[取扱い] 春日井不二太鼓、文化フォーラム春日井・文化情報プラザ(窓口販売のみ)
[主催] 春日井不二太鼓(0568-51-5518)

施設の魅力再発見! 建築家ル・コルビュジエの椅子



国立西洋美術館本館が世界文化遺産に登録されたことでも話題となった建築家ル・コルビュジエ。彼は近代建築三大巨匠のひとりと呼ばれ、家具の分野でも突出した才能を示しました。その家具作品のレプリカが、文化フォーラム春日井・視聴覚ホールにあることをご存知でしたか? 姿勢に応じて背もたれが動くスリムチェア「LC1」と、スチールパイプのフレームにクッションを落とし込んだソファ「LC2」です。座り心地をぜひお試しください。



年末年始の営業について

文化フォーラム春日井、春日井市民会館ともに、12/29(木)~1/3(火)まで、年末年始のため休館となります。文化情報プラザは12/28(水)18:00まで、翌年は1/4(水)9:00からの営業となります。チケットのWeb予約は、年末年始に関わらずご利用いただけます。年末は大掃除で忙しくなる当施設。日頃から様々な大道具が飾られる舞台は、ホコリの溜まり方も普通じゃないんです! 毎日掃除はしていますが、この大掃除で隅々までキレイにして、新年を気持ちよく迎える準備をします。来年も、よろしく願いいたします。



無料 短詩型文学祭作品展

限られた字数で、世相や風情を表現する短詩型文学。今年の5月から9月にかけて募集した「短歌」「俳句」「川柳」「狂俳」「詩」の5部門に、たくさんの作品が寄せられました。その中から厳選した優秀な作品を展示します。また、作品集も展覧会に合わせて発売します。短詩型文学は、誰でも気軽に始められる文学です。市井の文学に触れることで、自分でもやってみようという思いに駆られるかもしれません。まずは会場にお越しいただき、気軽にお楽しみください。

2017/1/28(土)~2/12(日)
※月曜休館
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム



文化フォーラム春日井をテーマにした映像作品ができました。

文化フォーラム春日井のプロモーション映像が出来ました! 制作したのは、春日井市在住で、あいちアートプログラム『となりの人びと-現代美術in春日井-』にも出展された、アニメーション作家・岡田昭憲さんのチーム。ストップモーションという手法を使った映像で、小さな紙のスケーターくんが図書館や交流アトリウムなど、お馴染みの景色の中を冒険していきます。映像は文化フォーラム春日井内やYouTubeの他、JR春日井駅でもご覧いただけます。JR春日井駅舎内にできた情報発信センター「Lirickリリック」内には、本誌やチラシを配架中。ぜひお立ち寄りください。



ニュータウンぎざな事業 どんぐり芸術文化劇場 津軽三味線☆三絃士コンサート

東海地方の津軽三味線奏者3人で結成された三絃士。卓越した演奏はもちろんですが、スタイル抜群のイケメン揃いという、容姿にも注目です! その3人の魅力が詰まったフォトブックが発売決定! かわいさとセクシーさとカッコよさを堪能できる、貴重な一冊です。コンサート会場でも販売予定。目でも耳でも楽しめる津軽三味線ユニット。要チェックです!

12/11(日) 14:00~
@春日井市東部市民センター
[主催] 春日井市東部市民センター



アニソンBIG3 スーパーライブ2017 in 春日井

アニソン界のトップを走り続ける水木・堀江・影山の3人が春日井に初上陸します!! 世代を超え、一緒に歌うもよし! 踊るもよし! 胸ときめかせ画面に釘付けになって見たアニメの数々、熱いステージパフォーマンスで熱狂の渦へと誘います。[出演] ●水木一郎/「マジンガーZ」「バビル二世」「キャプテンハーロック」他 ●堀江美都子/「キャンディキャンディ」「花の子ルンルン」「ひみつのアッコちゃん」他 ●影山ヒロノブ/ドラゴンボールZより「CHA-LA HEAD-CHA-LA」「WE GOTTA POWER」他
2017/3/19(日) 17:00~
@春日井市民会館



無料 美術家・堀口葵 展覧会&ワークショップ wish a merry めくめく Christmas!

文化フォーラム春日井のクリスマスを、美術家・堀口葵さんがプロデュース! 交流アトリウムを幻想的な作品で彩ります。「これは何だろう?」という不思議さと、ワクワク感をお楽しみいただけます。ギャラリーでは、家に眠っているボタンやリボンといった素材と木の枝を使ったクリスマス飾りの展示とワークショップを開催します。子どもから大人まで、デートにお散歩にピッタリですよ。
12/10(土)~25(日) ※月曜休館
9:00~20:00
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム
10:00~17:00(最終日は19:00まで)
@文化フォーラム春日井・ギャラリー

ワークショップ 「クリスマス飾りをつくろう!」

毎日開催!
ギャラリー内に展示する飾りを、実際に作ってみるワークショップを開催します。材料はご自宅から持ち込んでいただいてもOK! みんなで作って飾り、手作りのクリスマスを楽しみましょう。
[受付] 各日
10:00~16:00
@文化フォーラム春日井・ギャラリー
(無料/未就学児は要保護者同伴/素材持込可)



無料 とっておきのクリスマス

クリスマスの聖なる夜を、天使たちの歌声で楽しみませんか? 毎年恒例となっている本公演は、「子どもたちの素直な気持ちが会場に響き渡り、なんだか心が洗われるよう」と大人気です。歌に加え、先生たちが書くオリジナルストーリーのお芝居も楽しみの一つ。子どもたちのカワイイ演技に、つい笑みがこぼれ、優しい気持ちになれます。クリスマス之夜には、コンサートで楽しくお過ごしください。
12/25(日) 17:30~
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム
[主催] 春日井児童合唱団



無料 第24回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル

日本各地で盛んな高校吹奏楽。春日井市のように、市内ほぼ全ての学校が熱心に取り組んでいるところは、実は珍しいんです。各校の横のつながりも強く、お互いが切磋琢磨して、演奏力や表現力に磨きをかけています。そんな日々の努力を一度に楽しめるのが本公演。7校が一堂に揃い、ドリル・クラシック・ポップスなどのステージを繰り広げます。学校の枠を超えて力を結集し、単独ではできない演奏会をお届けします。
12/24(土) 14:00~
@春日井市民会館
[主催] 春日井市高等学校吹奏楽協議会

チケット購入方法

WEB **文化はかすがい** **検索** 

- Web会員登録(無料)が必要、PiPi会員は会員IDとパスワードでログイン
- チケット引取は **窓口** **セブンイレブン** **代引** から選べます。

TEL **電話で予約**

- チケット引取は **窓口** **セブンイレブン** **代引** から選べます。
- 一般の方 (9:00~21:30、チケット一般発売初日は10:00~)
- ☎ **0568-85-6868**
- PiPi会員 (PiPi先行予約期間中の9:00~17:00)
- ☎ **0568-85-6078**

窓口 **窓口で直接購入**

- 文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ (休館日を除く9:00~18:00)
- 春日井市東部市民センター窓口 (年末年始を除く9:00~12:00、13:00~17:00)

ぴあ **チケットぴあで予約・購入**

- 電話予約 / ☎0570-02-9999
- 直接購入 / チケットぴあ窓口もしくは端末にて

※公演ごとのPコードをご確認ください。
※PiPi会員割引はご利用いただけません。

etc **その他プレイガイド**

※ローソンチケット、セブンチケット、ファミポート、名鉄ホールチケットセンターなど、各プレイガイドで販売する公演もございます。販売対象は各公演情報をご確認ください。

窓口購入以外のチケット引取方法

セブンイレブン **お近くのセブン-イレブン店頭で引取**

※チケット代金の他に、決済手数料(1件につき¥162)と発券手数料(チケット1枚につき¥108)が別途必要

代引 **郵便局「代金引換サービス」で自宅に郵送**

※チケット代金の他に、代金引換手数料(¥500)が別途必要

※掲載価格はすべて税込です。※一般発売初日は、電話・Webからの予約・購入は10:00からとなります。電話のおかけ間違いにご注意ください。※車いす席をご希望の方は窓口または電話でお問い合わせください。※支払・引取方法によって各種手数料がかかります。※予約済・入金済チケットのキャンセル・払い戻しはできません。※前売り完売の場合、当日券の販売はありません。

青少年鑑賞サポートプログラム

- 対象者は優待価格¥500でチケットをご購入いただけます。
- 受付は各公演の一般発売日10:00より。詳しくは財団HPへ。

友の会PiPiに入会すると、こんなにお得!!

チケット先行申込 / 割引価格 / 最新情報を郵送 / etc

レギュラー会員 ¥2,000 / ゴールド会員 ¥3,000 / プラチナ会員 ¥10,000

ご入会・更新は財団HP「友の会PiPi」からどうぞ。24時間受付中!



文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館
www.kasugai-bunka.jp Follow us @kasugai_bunka
486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌平日)、12/29~1/3



交通のご案内

JR中央線「春日井駅」北口より
-名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
-徒歩 20分
-無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方
-「市役所」下車すぐ

※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

発売中



ニュータウンきずな事業 どんぐり芸術文化劇場 津軽三味線☆三絃士コンサート ~はじまりの9絃~

12/11(日)14:00
@春日井市東部市民センター
【料金】●¥2,200 ●PiPi会員は¥200引き ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可
【主催】春日井市東部市民センター

WEB TEL 窓口

発売中



かすがい人形劇フェスティバル2016

12/11(日) 午前の部10:00、午後の部14:00
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、交流アトリウム

【料金】●おとな:前売券¥1,000、当日¥1,200、一日券¥1,700 ●こども(3歳以上小学生以下):前売券¥500、当日¥600、一日券¥800 ●PiPi会員は各料金の1割引き ●全自由席
【主催】愛知県人形劇協会・かすがい人形劇フェスティバル実行委員会

窓口 etc

発売中



第59回 かすがい日曜シネマ「Dearダニー 君へのうた」

2017/1/22(日) ①10:15 ②13:45 ③16:45
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

【料金】●¥900(当日¥1,000)、ペア¥1,700(当日¥1,900) ●PiPi会員¥800、ペア¥1,500(ともに当日券同額) ●U25チケット¥500(25歳以下・③のみ) ●全自由席、上映時間指定、3歳以上有料

WEB TEL 窓口

©2015Darry Collins Productions LLC

発売中



花形狂言2017 冬の大家ツアー

2017/1/28(土)13:00
@春日井市民会館

【料金】●¥3,500 ●PiPi会員は¥300引き ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

WEB TEL 窓口 **ぴあ(Pコード453-840)**

青少年鑑賞サポートプログラム

発売中



第86回かすがい芸術劇場 古今亭文菊 独演会

2017/2/19(日)14:00
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

【料金】●¥2,700 ●PiPi会員は¥200引き ●全自由席、当日券同額、未就学児入場不可

WEB TEL 窓口 **ぴあ(Pコード454-156)**

先行予約



●PiPi会員先行予約 12/10(土)~12/13(火)
※12/12(月)はWeb予約のみ

●Web先行予約 12/14(水)10:00~12/16(金)17:00
●一般発売 12/17(土)

アニゾンBIG3 スーパーライブ2017in春日井

2017/3/19(日)17:00~ @春日井市民会館

【料金】●¥4,500 ●PiPi会員は¥300引き ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

WEB TEL 窓口 **ぴあ(Pコード315-260)**

etc